



独立行政法人

国立病院機構盛岡医療センター

地域医療連携室だより



No. 43

(令和7年6月発行)



「共に生きていく」

地域医療連携室長 千葉実行

別れと出会いと桜の季節を過ぎ、1年の中で盛岡が一番輝くといっても過言ではない、薫風香る新緑の季節真っ只中の今日この頃ですが、皆様方におかれましては日々お元気でご活躍のことと拝察致します。また日頃より当院の円滑な運営につきまして、ご理解とご支援を賜り篤く御礼申し上げます。

当院は新たに31名の新たなメンバーたちを仲間に加えて2025年度も動き始めました。特に17名の新たに採用された職員の方々は期待と不安と緊張の間をぐるぐると回りながら、新たな学びを日々得ていることと思いますが、良き「学び」とはどういったもののでしょうか？私が大好きで尊敬している仏文学者・武道家の内田樹氏によれば、「学び」は単に知識量の増大ではなく今ある自分とは別人になることなのだそうです。即ち、入れ物が同一で中身が増えているだけなのは「補充」であって、「学び」とは入れ物自体が変わること、全面的な人間の刷新であるといいます。人間が知的に成長するのは別人になることであると。私達の「学び」が良き医療を提供し患者様のアウトカムの向上に寄与すると共に自らの人間的成長に繋がるものであったら素晴らしいことです。

さて、世界に目を向けますとトランプ大統領の関税政策・保護主義・自国第一主義、終わらないウクライナ戦争・パレスチナ紛争、物価高、格差の拡大、加速する気候温暖化等々により我々の住む世界の持続可能性が危ぶまれています。医療業界においても病院・医院の経営状況の悪化、高齢化による医療費の増大による国の財政状況の悪化など、こちらも先行きが不透明で不安材料ばかりが目の前に積み重なっていきます。そんな中、先日日本内科学会のWEB講演会で生物学者の福岡伸一先生の特別講演「生命を捉えなおす一動的平衡の視点から」を拝聴致しました。それによると、我々の生命は138億年前に宇宙の誕生とともにできた元素を使って成り立っており、それらが絶えず流入と流出を繰り返すという動的な流れの中に立ち上がって

(次ページへ続く)

- 病院理念● 生命を尊重し、地域の人々に安心・信頼される医療を提供する
- 基本方針●
 - ①安心・安全な医療を提供します。
 - ②病病連携・病診連携を通して地域医療に貢献します。
 - ③専門的な知識と技術、倫理観を備えた職員を育成します。
 - ④職員は互いに尊重・補完しあい、協働し良質な医療を提供します。
 - ⑤信頼される医療を提供するための経営の健全化を図ります。

いて、「物体・個体」というよりは「状態・現象」であるといいます。動的平衡状態においてはエントロピー増大の法則に抗するために作るよりも壊すことが優先され、変わらないために変わり続けることによって代替性・柔軟性・可変性が獲得されて回復・修復が可能になるそうです。そして個体レベルでも生態系全体のレベルにおいてもそれを構成する一つ一つの細胞・生命が他のそれらに対して相補的・利他的に作用することによって限られた環境を共存していける、動的平衡が保たれるようになっているとのことでした。膠着した現状を積極的に壊して作り直す、生存競争的なことでなく利他的な振る舞いの後に起こる進化のジャンプ、等もキーワードとして心に残りました。我々が直面する課題の解決に向けて有意義なヒントを与えてくれた講演であったように思います。「トランプ大統領も行動原理を少しは生命全体の基本原理に近づけて利他性について思いを馳せていただきたい」とおっしゃっておられて、胸がすく思いが致しました。

これからの地域医療においては「治す医療」の時代から「治し支える医療」への転換が必要と考えます。そのためには急性期・地域包括医療/ケア・慢性期各々の役割分担がこれまで以上に求められると思いますし、それらをシームレスにつなげる連携室の重要性が益々クローズアップされてゆくことと思います。「地域医療」が壮大なジグソーパズルの壁画とすれば、各々の医療機関がそれを構成する重要なピースの一つであるといえるでしょう。それらが相互にリスペクトし合い、隣り合うピースに対して利他的に働きかけ、各々の状態に合わせて自らの形を流動的に変化させてゆくことができれば、壮大な壁画はエントロピー増大の法則に打ち勝って生き生きと存在し続けることができます。盛岡医療圏の地域医療がそのようなイメージで今後更に発展を遂げてゆくことを心から願っております。そして盛岡医療センターもそのピースの役割をしっかりと全うしていけるよう、即ち皆様から信頼され必要とされる医療を提供していけるように職員一同取り組んで参りますので、本年度も皆様の御支援を宜しくお願い申し上げます。

「第9回地域医療懇談会」のお知らせ

管理課長 三河 栄次郎

開催日時：令和7年8月28日（木） 19:00～20:00

開催場所：ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING
（盛岡市盛岡駅前北通2番27号）

講演会等 19:00～20:00

意見交換会 20:00～21:00

地域医療の更なる連携強化を目的としまして、本年も、上記日時に予定させていただきました。

開催の詳細につきましては追ってご案内いたしますが、当院医師・地域医療連携室からの講演及び質疑応答等を予定しておりますので、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

また、講演会後は意見交換会の場を設けまして、地域の医療機関等の方々と飲食をともにしながら意見交換をさせていただければと思います。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

盛岡医療センターの装置を気軽にご利用いただけます ～ MRI・CT・骨密度 装置共同利用のご案内 ～

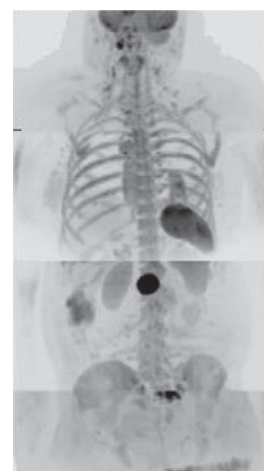
- ◎ MRI・CT検査は、**放射線科専門医による読影レポートが付きます！**
- ◎ ほとんどが希望日時に検査可能です。**お待たせしません！**
- ◎ **認知症検査*¹、最近話題の全身DWIBS検査*²にも対応可能です。**

*1 認知症検査：VSRAD アルツハイマーのような脳の萎縮を調べる検査

*2 全身DWIBS(全身拡散強調像)検査：全身がんスクリーニング検査
(がんのように細胞が正常よりも密集している部分を検出する検査)



専門技師が質の高い画像検査を提供いたします



全身 DWIBS 正面像

* 最新ニュース *

スマート脳ドックを始めました！

スマート脳ドックとは？

受付からお帰りまで30分
継続しやすい価格 24,750円(税込)
検査結果は2人の専門医がチェック



詳細、お申し込みは2次元バーコードよりHPにアクセスしてください

ご予約、お問い合わせは地域連携室で対応致します

受付時間：9:00～17:00（月～金） 直通TEL019-908-7001 FAX019-647-9339

国立病院機構盛岡医療センター 診療担当医一覧表

令和7年6月1日現在

【外来診療受付時間】 月～金曜日：8:30～11:00（急患については随時対応）

【電話による予約受付時間】 月～金曜日：13:00～17:00

専用電話：019-645-4564

診察ご希望の方は、下記の曜日、時間等をご確認の上、ご予約ください。

診療科目		新・再別	月	火	水	木	金
呼吸器内科／ 一般内科	午前	新患・再来	高原政利	木村啓二	高原政利	山田博之	☆東北大学 呼吸器内科医師
			山田博之	只左一也	只左一也	木村啓二	
	午後	新患・再来 (急患のみ)	高原政利	山田博之	只左一也	肥田親彦	高橋 信
循環器内科	午前	新患・再来	肥田親彦	高橋 信	高橋 信	肥田親彦	☆篠崎 毅
	午後	新患・再来	—	—	—	—	【ペースメーカー外来】 肥田親彦 (第2・4週、14:00~15:00)
糖尿病内科	午前	新患・再来	—	—	☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師	—	—
	午後			☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師 (第2・4週)	—		
消化器内科	午前	新患・再来	☆工藤典重	☆穴倉かおり	—	—	☆仙台医療センター 消化器内科医師 (第2週)
脳神経内科	午後	新患・再来	村田隆彦	小原智子	小原智子	村田隆彦	【新患のみ】 (第2・4週)
リウマチ科	午前	新患・再来	千葉実行	千葉実行	千葉実行	—	千葉実行 (最終週は休診)
			☆岩手医科大学 リウマチ・膠原病・ アレルギー内科医師 (第1・3・5週)		☆岩手医科大学 リウマチ・膠原病・ アレルギー内科医師		

※呼吸器内科・一般内科の午後外来は、新患・再来・予約外の急患について午後1時30分～3時30分の時間で診療を行います。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金
整形外科	午前	新患・再来	大山素彦	大山素彦 (第2週は予約のみ)	【脊椎外来】 大山素彦 (紹介予約制) 午前9時～11時	本田剛久 (第1・2・3・5週)
	午後	新患・再来	本田剛久	本田剛久 (第1・3・4・5週)		☆大竹高行
脳神経外科	午前	新患・再来	—	西川泰正 (第1・3・5週)	西川泰正	—

※整形外科の第2火曜日、第4金曜日は予約のみの受付になります。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金
小児科 (消化器・アレルギー) 予約制	午前	新患・再来	佐々木美香	佐々木朋子	佐々木美香	—
	午後	新患・再来	佐々木朋子 (第2・3・4・5週)	佐々木美香	佐々木美香 (第2・4週) 佐々木朋子 (第1・3週) ☆高橋明雄 (第2・4週)	—

※小児科は消化器・アレルギー等の専門外来になります。

「☆」は、非常勤医師です。

独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター

岩手県盛岡市青山一丁目25番1号

病院代表 TEL 019-647-2195

FAX 019-646-1195

<https://morioka.hosp.go.jp/profession/index.html>